

令和2年度 事業報告

学校法人 武蔵野大学

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人の名称：学校法人武蔵野大学

主たる事務所の住所、電話番号、FAX番号、ホームページアドレス等

：東京都江東区有明三丁目3番3号

03-5530-7333（代表）

<https://www.musashino-u.ac.jp>

(2) 建学の精神

この法人は、仏教精神並びに教育基本法及び学校教育法に従い、有為の女子を育成すると共に男女共同参画社会の実現に資する教育及び幼児教育を行うことを目的とする。

(3) 学校法人の沿革

大正 13	(1924)年	東京都中央区築地に「武蔵野女子学院」創設。
昭和 2	(1927)年	武蔵野女子学院高等女学校設立。
昭和 4	(1929)年	保谷村（現：西東京市新町）に移転。
昭和 22	(1947)年	新学制により武蔵野女子学院高等女学校は武蔵野女子学院中学校、武蔵野女子学院高等学校となる。
昭和 25	(1950)年	武蔵野女子短期大学設立。
昭和 29	(1954)年	武蔵野女子短期大学を武蔵野女子学院短期大学に名称変更。
昭和 40	(1965)年	武蔵野女子大学設立。 武蔵野女子学院短期大学を武蔵野女子大学短期大学部に名称変更。
昭和 42	(1967)年	武蔵野女子学院幼稚園設立。
昭和 61	(1986)年	武蔵野女子学院幼稚園を武蔵野女子大学附属幼稚園に名称変更。
平成 11	(1999)年	武蔵野女子大学大学院設立。
平成 15	(2003)年	武蔵野女子大学を武蔵野大学に名称変更。
平成 16	(2004)年	武蔵野大学男女共学化。
平成 24	(2012)年	学校法人武蔵野女子学院を学校法人武蔵野大学に名称変更。 江東区有明に有明キャンパスを開設。
平成 28	(2016)年	学校法人武蔵野大学と学校法人千代田女学園が法人合併。
平成 29	(2017)年	武蔵野大学附属慈光保育園設立。
平成 30	(2018)年	千代田女学園高等学校を男女共学化し、武蔵野大学附属千代田高等学院に名称変更。 千代田インターナショナルスクール東京設立。
令和 元	(2019)年	武蔵野女子学院中学校・高等学校を武蔵野大学中学校・高等学校に名称変更し、 武蔵野大学中学校を男女共学化。
令和 2	(2020)年	武蔵野大学附属有明こども園設立。

(4) 設置する学校・学部・学科等

(令和2年5月1日現在)

武蔵野大学	大学院	文学研究科	日本文学専攻 (修士課程/博士後期課程)
		言語文化研究科	言語文化専攻 (修士課程/博士後期課程)
		法学研究科	ビジネス法務専攻 (修士課程)
		政治経済学研究科	政治経済学専攻 (修士課程/博士後期課程)
		経営学研究科	会計学専攻 (修士課程)
		人間社会研究科	人間学専攻 (修士課程/博士後期課程) 実践福祉学専攻 (修士課程)
		仏教学研究科	仏教学専攻 (修士課程/博士後期課程)
		環境学研究科	環境マネジメント専攻 (修士課程) 環境システム専攻 (博士後期課程)
		工学研究科	数理工学専攻 (修士課程) 建築デザイン専攻 (修士課程)
		教育学研究科	教育学専攻 (修士課程)
		薬科学研究科	薬科学専攻 (修士課程/博士後期課程)
		看護学研究科	看護学専攻 (修士課程/博士後期課程)
		● 通信教育部 人間社会研究科	人間学専攻 (修士課程) 仏教学専攻 (修士課程) [平成28年度募集停止] 実践福祉学専攻 (修士課程)
		通信教育部 仏教学研究科	仏教学専攻 (修士課程) [平成28年度入学生より]
		通信教育部 環境学研究科	環境マネジメント専攻 (修士課程)
		大学	文学部
	グローバル学部		グローバルコミュニケーション学科 [平成28年度入学生より]
			日本語コミュニケーション学科 [平成28年度入学生より]
			グローバルビジネス学科 [平成28年度入学生より]
	● グローバル・コミュニケーション学部		グローバル・コミュニケーション学科 [平成28年度募集停止]
	法学部		法律学科
			政治学科
	● 経済学部		経済学科
			経営学科 [平成31年度募集停止]
			会計ガバナンス学科 [平成31年度募集停止]
	経営学部		経営学科 [平成31年度入学生より] 会計ガバナンス学科 [平成31年度入学生より]
	データサイエンス学部		データサイエンス学科
	● 政治経済学部		政治経済学科 [平成26年度募集停止] 経営学科 [平成26年度募集停止]
	人間科学部		人間科学科
		社会福祉学科	
● 工学部	環境システム学科		
	数理工学科		
	建築デザイン学科		
● 環境学部	環境学科 (都市環境専攻) [平成27年度募集停止]		
教育学部	教育学科 (保育・幼児教育専修/学校教育専修)		
	幼児教育学科		
薬学部	薬学科		
看護学部	看護学科		
通信教育部 人間科学部	人間科学科 (心理学専攻/仏教学専攻/社会福祉専攻)		
通信教育部 教育学部	教育学科		
別科 (日本語教育課程、介護福祉士養成課程)			
専攻科 (言語聴覚士養成課程)			
武蔵野大学高等学校 全日制課程普通科			
武蔵野大学中学校			
武蔵野大学附属千代田高等学院 全日制課程普通科			
●	千代田女学園中学校	[平成29年度募集停止]	
武蔵野大学附属幼稚園			
武蔵野大学附属慈光保育園 (企業内保育所)			
☆武蔵野大学附属有明こども園			
千代田インターナショナルスクール東京 (各種学校)			
●	募集停止	☆令和2年度開設	

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和2年5月1日現在/単位:人)

設置校		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
大学院	文学研究科(修士課程)	7	14	6	8					14
	言語文化研究科(修士課程)	55	110	50	52					102
	法学研究科(修士課程)	10	20	2	1					3
	政治経済学研究所(修士課程)	10	20	2	2					4
	経営学研究科(修士課程)	10	20	4	6					10
	人間社会研究科(修士課程)	37	74	25	25					50
	仏教学研究科(修士課程)	5	10	2	5					7
	環境学研究科(修士課程)	10	20	3	7					10
	工学研究科(修士課程)	30	60	13	16					29
	教育学研究科(修士課程)	10	20	4	4					8
	薬学研究科(修士課程)	5	10	2	0					2
	看護学研究科(修士課程)	10	20	3	12					15
	文学研究科(博士後期課程)	2	6	0	0	1				1
	言語文化研究科(博士後期課程)	2	6	3	2	2				7
	政治経済学研究所(博士後期課程)	3	9	0	0	0				0
	人間社会研究科(博士後期課程)	3	9	2	0	6				8
	仏教学研究科(博士後期課程)	2	6	0	1	3				4
	環境学研究科(博士後期課程)	2	6	0	0	1				1
	薬学研究科(博士後期課程)	5	15	4	2	8				14
	看護学研究科(博士後期課程)	3	9	2	2	11				15
計		221	464	127	145	32				304
大学	文学部	220	871	221	197	192	187			797
	グローバル学部	300	1,215	312	242	278	266			1,098
	グローバル・コミュニケーション学部(募集停止)	-	-	0	0	1	0			1
	法学部	290	1,166	309	261	272	236			1,078
	経済学部	175	1,168	181	191	444	313			1,129
	経営学部	310	623	311	294	0	0			605
	データサイエンス学部	70	140	71	68	-	-			139
	政治経済学部(募集停止)	-	-	0	0	0	3			3
	人間科学部	372	1,499	370	348	350	310			1,378
	工学部	200	800	222	197	168	184			771
	環境学部(募集停止)	-	-	0	0	0	1			1
	教育学部 ※1	220	880	226	206	215	210			857
	薬学部	160	915	148	138	134	145	121	152	838
	看護学部	145	555	132	143	133	97			505
	計		2,462	9,832	2,503	2,285	2,187	1,952	121	152
別科(日本語教育課程、介護福祉士養成課程)	130	130	88							88
専攻科(言語聴覚士養成課程)	30	60	13	11						24
通信教育部	大学院 人間社会研究科(修士課程)	70	140	83	161					244
	大学院 仏教学研究科(修士課程)	20	40	21	36					57
	大学院 環境学研究科(修士課程)	10	20	11	20					31
	大学 人間科学部 ※2	250	2,400	163	161	459	1,915			2,698
	大学 教育学部 ※3	17	238	8	14	93	134			249
計		367	2,838	286	392	552	2,049			3,279
武蔵野大学高等学校	400	1,200	464	221	191					876
武蔵野大学中学校	250	750	177	136	62					375
計		650	1,950	641	357	253				1,251
武蔵野大学附属千代田高等学院	200	600	294	109	126					529
千代田女学園中学校	-	-	-	-	-					-
計		200	600	294	109	126				529
武蔵野大学附属幼稚園(学年は順に年少、年中、年長)	96	288	76	98	99					273
武蔵野大学附属慈光保育園	12	12	6	6						12
計		108	300	82	104	99				285
武蔵野大学附属有明こども園(学年は順に0歳~5歳)	120	280	9	15	16	79	40	19		178
千代田インターナショナルスクール東京 初等部	40	200	24	35	27	11	18			115
千代田インターナショナルスクール東京 中等部	40	160	13	12						25
千代田インターナショナルスクール東京 高等部	40	120	0	3						3
総計		4,408	16,934	4,080	3,468	3,292	4,091	179	171	15,281

※1 教育学部こども発達学科を幼児教育学科に名称変更

※2 3年次編入学定員700人

※3 3年次編入学定員85人

(6) 収容定員充足率

(令和2年5月1日現在/単位:人・%)

区分	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率
武蔵野大学大学院	356	305	85.67	365	300	82.19	381	267	70.07	427	276	64.63	464	304	65.51
武蔵野大学	7,759	8,219	105.92	8,235	8,551	103.83	8,829	8,743	99.02	9,348	8,965	95.90	9,832	9,200	93.57
武蔵野大学大学院通信教育部	180	235	130.55	180	250	138.88	190	280	147.36	200	293	146.50	200	332	166.00
武蔵野大学通信教育部	3,200	3,046	95.18	2,952	3,232	109.48	2,804	3,314	118.18	2,721	3,140	115.39	2,638	2,947	111.71
別科(日本語教育課程、介護福祉士養成課程)							90	17	18.88	90	57	63.33	130	88	67.69
専攻科(言語聴覚士養成課程)	60	34	56.66	60	27	45.00	60	33	55.00	60	26	43.33	60	24	40.00
武蔵野大学高等学校	1,200	553	46.08	1,200	564	47.00	1,200	560	46.66	1,200	593	49.41	1,200	876	73.00
武蔵野大学中学校	750	201	26.80	750	175	23.33	750	181	24.13	750	253	33.73	750	375	50.00
武蔵野大学附属千代田高等学院	600	223	37.16	600	232	38.66	600	270	45.00	600	322	53.66	600	529	88.16
千代田女学園中学校	600	70	11.66	600	64	10.66	500	35	7.00	400	16	4.00			
武蔵野大学附属幼稚園	288	293	101.73	288	296	102.77	288	304	105.55	288	298	103.47	288	273	94.79
武蔵野大学附属慈光保育園				12	11	91.66	12	11	91.66	12	12	100.00	12	12	100.00
武蔵野大学附属有明こども園													280	178	63.57
千代田インターナショナルスクール東京 初等部							200	62	31.00	200	105	52.50	200	115	57.50
千代田インターナショナルスクール東京 中等部										160	11	6.87	160	25	15.62
千代田インターナショナルスクール東京 高等部										120	1	0.83	120	3	2.50
総計	14,993	13,179	87.90	15,242	13,702	89.89	15,904	14,077	88.51	16,576	14,368	86.67	16,934	15,281	90.23

(7) 役員の概要

定員数(理事):12名以上16名以内 現員数:11名 ※1

定員数(監事):2名 現員数:2名

※1 理事の定数は、学校法人武蔵野大学寄附行為第7条2項において、学院長及び学長が学校長(高等学校・中学校・幼稚園・各種学校)を兼ねるとき、定数を減ずることができると規定している。

(令和2年5月1日現在)

	氏名	就任年月日	常勤・非常勤	業務執行・非業務執行	主な現職
理事	石上 智康	平成4年6月16日	非常勤	業務執行	浄土真宗本願寺派総長
理事	田中 教照	平成14年4月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学学院長
理事	西本 照真	平成28年4月1日	常勤	業務執行	武蔵野大学長、武蔵野大学附属幼稚園長
理事	日野田 直彦	平成30年4月1日	常勤	業務執行	武蔵野大学高等学校長・中学校長 武蔵野大学附属千代田高等学院長
理事	山田 英昭	平成19年4月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学事務局長
理事	荒川 智行	平成25年2月14日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派信行寺住職
理事	白川 了信	平成24年6月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派所務部長
理事	安永 雄彦	平成29年12月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派築地本願寺代表役員宗務長
理事	平田 史郎	平成24年10月1日	非常勤	非業務執行	学校法人平田学園理事長
理事	香川 敬	平成27年10月1日	非常勤	非業務執行	学校法人敬陽学園衛生幼稚園理事長
理事	寺崎 修	平成20年4月1日	非常勤	非業務執行	武蔵野大学名誉教授
監事	芝村 正弘	平成20年10月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派玄正寺衆徒
監事	長野 了法	平成31年3月22日	非常勤	非業務執行	学校法人龍谷大学理事

責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

<p>【契約名称】 会社役員賠償責任保険</p> <p>【被保険者】 上掲の表記載の理事及び監事、計13名</p> <p>【契約内容】 被保険者が役員としての業務につき行った行為(不作為を含む)に起因して保険期間中に被保険者に対して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害に対して保険金の支払いが行われる。</p> <p>【支払対象】 法律上の損害賠償責任に基づく賠償金、損害賠償請求に関する争訟によって支出した訴訟費用、弁護士報酬等の費用。</p> <p>【限度額】 5億円</p> <p>【契約期間】 令和2年5月1日午後4時～令和3年5月1日午後4時</p> <p>【契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置】 ①当該保険契約の被保険者は本法人の理事及び監事であり、すべての被保険者について、その保険料を全額本法人が負担している。 ②補償に限度額(5億円)を設けている。</p>

(8) 評議員の概要

定員数：39名以上56名以内 現員数：35名 ※2

※2 評議員の欠員については、寄附行為変更認可申請中であり、寄附行為変更後は評議員の構成が変更になるため、変更後の寄附行為の選任条項に基づき選任する。

(令和2年5月1日現在)

氏名	就任年月日	主な現職
石上 智康	平成4年6月16日	浄土真宗本願寺派総長
田中 教照	平成14年4月1日	学校法人武蔵野大学学院長
西本 照真	平成28年4月1日	武蔵野大学長、武蔵野大学附属幼稚園長
日野田 直彦	平成30年4月1日	武蔵野大学高等学校長・中学校長、武蔵野大学附属千代田高等学院校長
山田 英昭	平成17年4月1日	学校法人武蔵野大学事務局長
荒川 智行	平成25年2月14日	浄土真宗本願寺派信行寺住職
白川 了信	平成24年6月1日	浄土真宗本願寺派所務部長
安永 雄彦	平成29年11月20日	浄土真宗本願寺派築地本願寺代表役員宗務長
平田 史郎	平成24年10月1日	学校法人平田学園理事長
香川 敬	平成27年10月1日	学校法人敬陽学園鞠生幼稚園理事長
寺崎 修	平成20年4月1日	武蔵野大学名誉教授
寺下 公章	平成31年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校副校長
岡田 孝子	平成28年6月14日	武蔵野大学附属千代田高等学院教頭
落合 恒	平成30年7月1日	学校法人武蔵野大学事務局次長
谷澤 洋一	平成31年4月1日	武蔵野大学高等学校教諭
杉浦 みずほ	平成30年4月5日	武蔵野大学中学校教諭
西谷 寿泰	平成28年4月1日	武蔵野大学附属千代田高等学院教諭
長谷川 浩美	平成30年4月1日	武蔵野大学附属幼稚園教諭
井上 敏昭	平成31年4月5日	学校法人武蔵野大学企画部長
横山 尚佳	平成30年4月1日	学校法人武蔵野大学総務部参事
柳川 信澄	平成9年4月1日	浄土真宗本願寺派光善寺元住職
藤谷 光信	平成19年4月1日	岩国南幼稚園学園長
斯波 照雄	平成27年4月1日	浄土真宗本願寺派光徳寺住職、中央大学名誉教授
三樹 潤子	平成22年4月1日	武蔵野大学同窓会顧問
落合 貴代子	平成28年4月1日	武蔵野大学同窓会会長
八木 新子	平成12年4月5日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会顧問
阿部 美枝子	平成25年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会会長
高柳 由美子	平成28年4月1日	千代田同窓会顧問
鷹谷 俊昭	平成7年4月1日	社会福祉法人大心会理事
小幡 哲夫	平成4年4月1日	医療法人社団哲富会小幡歯科クリニック理事長
小林 泰善	平成19年6月1日	社会福祉法人稲田福祉会理事長
吉國 眞一	平成20年6月1日	株式会社サンテック社外監査役
西原 祐治	平成23年6月1日	宗教法人西方寺（浄土真宗本願寺派）代表役員
立石 晴康	平成26年6月1日	社会福祉法人シルバーウィング理事
藤音 浩	平成28年6月1日	株式会社ウィズ・パートナーズ

(9) 教職員の概要

令和2年度教職員数（令和2年5月1日現在）

（単位：人・歳）

		法人	大学	武蔵野大学 高等学校	武蔵野 大学 中学校	武蔵野大学 附属千代田 高等学院	千代田 女学園 中学校	武蔵野 大学附属 幼稚園	武蔵野 大学附属 有明こども園	武蔵野 大学附属 慈光保育園	千代田インター ナショナルスクール 東京	計	平均 年齢										
教員	専任	教授	159	(162)								159	(162)	46.3									
		准教授	68	(64)								68	(64)										
		講師	62	※2 (60)								62	(60)										
		助教	33	(29)								33	(29)										
		助手	11									11											
	教諭			47	(40)	19	(17)	34	(32)	(4)	11	(11)	29		27	(23)	167	(127)					
	常勤 講師			(1)	(1)	9	(7)	(1)	6	(6)					15	(16)							
	計		333	(315)	47	(41)	19	(18)	43	(39)	(5)	17	(17)	29		27	(23)	515	(458)				
	非常勤	講師(客 員を含む)		858	(793)	29	(23)	5	(8)	23	(6)	(2)				4	(3)	919	(835)				
		委託・ 兼務		133	(104)													133	(104)				
計			991	(897)	29	(23)	5	(8)	23	(6)	(2)				4	(3)	1,052	(939)					
合計			1,324	(1,212)	76	(64)	24	(26)	66	(45)	(7)	17	(17)	29		31	(26)	1,567	(1,397)				
職員	専任	総合職・ 一般職	10	※1 (14)	196	※3 (174)	10	(10)			4	(4)		2	(1)	3	3	(3)	7	(7)	235	(213)	38.7
		実習 助手		2	(11)																2	(11)	
		嘱託		47	※4 (43)	7	※5 (8)	1		3	(3)	(1)	1	(2)	2			2	(2)	63	(59)		
	計	10	(14)	245	(228)	17	(18)	1		7	(7)	(1)	3	(3)	5	3	(3)	9	(9)	300	(283)		
	非常勤	嘱託		82	(94)	8	(6)						14	(13)	9	9	(11)	5	(2)	127	(126)	47.0	
		計		82	(94)	8	(6)						14	(13)	9	9	(11)	5	(2)	127	(126)		
合計		10	(14)	327	(322)	25	(24)	1		7	(7)	(1)	17	(16)	14	12	(14)	14	(11)	427	(409)		
総計		10	(14)	1,651	(1,534)	101	(88)	25	(26)	73	(52)	(8)	34	(33)	43	12	(14)	45	(37)	1,994	(1,806)	46.5	

[注] 1. ()内は、令和元年5月1日現在の数字を示す。

2. 大学に通信教育部教職員を含む。

※1. 出向者7名を含む。

※2. 出向受入者4名を含む。

※3. 出向受入者4名を含む。

※4. 出向受入者5名を含む。

※5. 出向受入者1名を含む。

2. 事業の概要（令和2年度の主な取り組み、成果）

（1）武蔵野大学・大学院

<概要>

大学では、これまで毎年度、学長より示されていた年度運営方針を取り込むかたちで中長期計画の作成を行った。そのため、令和2年度の事業結果では、過年度から取り組んできた案件で複数の成果をあげることができたが一方で、コロナ禍によって、学外との交流が伴う事業（留学、フィールド・スタディーズ（F S）等）においては、計画の中止または縮小を余儀なくされた。以下に中期計画事業の目標毎の取組、成果を報告する。

<目標毎の取組、成果>

1) 自己と世界を問う

- ・全学部学科、研究科でSDGsの目標を作成し、ブランドビジョン協議会にて教育改革推進会議構成員と学部長、学科長、研究科長とで内容確認を行った。
- ・これまでも学長から示されてきた目標である「自学自修時間6時間以上の学生割合」「授業理解度の割合」が初めて目標値を超えた。コロナ禍によりオンライン授業となったため、自主的に学ぶ環境が自然とつくられたことも影響していると考えられる。

2) 未来の世界を創るcreativeな実践者輩出

- ・認証評価で指摘されたカリキュラムポリシー（CP）について、修正内容を検討し、新たなCPを令和3年度に公開するための準備を行った。
- ・新規サブメジャーである「AI活用エキスパートコース」のカリキュラムマップの整備、特設ページの開設などを行って、令和3年度に開講する準備を行った。
- ・著名企業400社への就職者数については、本学学生が多く就職する旅行業、サービス業の業績がコロナ禍により厳しい状況となったため、64名に留まった。
- ・科研費については、コロナ禍においてビデオ説明会を行うなど、獲得に向けた申請サポートを推進し、目標を上回る件数を獲得した。

3) AI世界を先導するMUSIC（Musashino University Smart Intelligence Center）

- ・無線LAN、電源の整備については、令和2年度中に計画することとしていたが、学内でオンライン授業を受講する環境を用意する必要が生じたため、急遽予算を確保して、有明・武蔵野両キャンパスで整備を行った。
- ・LMSの活用については、コロナ禍でのオンライン授業化で、大きく進んだ。本学で用意したLMSを始めとした様々なコミュニケーションツールを用いて実施する授業が定着した。

4) Global & Universal

- ・この目標は、コロナ禍の影響を最も受けた結果となり、目標未達となっている事業が多い。
- ・語学研修やグローバルPBLでは、急遽オンラインプログラムの開発を行い、学生募集を行ったが、参加者は伸びなかった。
- ・女性研究者の比率は、全学で目標として掲げて採用活動を行い、目標値に到達することができた。

5) MU-GEN (Musashino University GENERations) につながるInfinite Linking

- ・MUSICが提供する情報科目を高大連携事業として、武蔵野大学附属千代田高等学院で実施。77名が大学入学後の単位認定対象者となった。
- ・認証評価で指摘を受けた通信教育部のCPについては、学部、大学院共に適切なCPに見直しを行い、ホームページで公開した。
- ・100周年事業を機とした卒業生等への情報発信については、校友会連合会のデータベース構築、ホームページの制作を行った。

6) 共に5つのチャレンジを実現する学生の安定的な確保

- ・入学定員を満たす入学者の確保については、年内に実施する推薦系の入試で、志願者が多く、また年明けの一般入試も予定通り実施することができたため、慎重に選抜を行うことで、達成することができた。
- ・かねてから大学の目標として設定していた「THE世界大学ランキング日本版」については、令和2年度に初めてランクイン（150位以内）した。これは、2018年度から実施したグローバルコミュニケーション学科の全員留学の取組が「国際性」の項目で評価対象となったことが大きな理由である（令和2年度は、コロナ禍の影響で全員留学は未実施）。

(2) 武蔵野大学中学校・高等学校

- ・事業計画のうち、重点計画としている「英語四技能への対応と各種試験の研究」に関しては、海外留学生を中心にCEFRのレベルが上がるなどの効果が見られた。特に高3の生徒は、これらの強みを活かし難関私立大学に多数合格した。
- ・生徒一人ひとりの将来を見据えた教育を実践するため、外部企業と連携して行う教育プログラムLAM (Liberal Arts Musashino) では、学校の教科学習とは異なる授業を実施し、生徒の学習に対する知的好奇心を引き出している。
- ・atama+ (アタマプラス：数学のAI学習コンテンツ) を活用し、生徒の個々の能力に応じた習熟度別授業を実施。オーダーメイド学習カリキュラムを提供できるため、弱点の克服や上位学年の学びの提供など、個々の生徒の能力向上につながった。

(3) 武蔵野大学附属千代田高等学院

- ・従来の6コース体制から、選択と集中による2コース体制への再編と教育力の向上を図るとともに、新コースにより施設の関係で当初設定していた入学者の確保も達成できた。
- ・武蔵野大学中学校・高等学校にて先行導入した外部企業と連携して行う教育プログラム(atama+等) を千代田高等学院でも展開。

(4) 武蔵野大学附属幼稚園

少子化や近隣地域における保育園増設に伴う応募者減少への対策として、現状と課題の見直しを行った結果、給食の提供と預かり保育の料金改定について検討することとなった。また、大学附属園のメリットを活かした課外活動や保護者向け講座等の実施に向け引き続き検討、調整を図る。

(5) 武蔵野大学附属有明こども園

コロナ禍の中での開園を迎えたが、220名確保目標（定員280名）に対し、園児数195名でのスタートとなった。近隣の居住状況に鑑みれば、3歳児までの定員は充足しており健闘したと言える。有明地域における確固たる基盤を固めることを目指して、引き続き保護者のニーズを的確に捉えた教育、育児、支援スタイルを確立していく。

(6) 法人事務局

安定かつ適正な法人運営のため、ガバナンス体制の見直しを図り、執行体制の強化に取り組んだ。また、第一次長期計画・第一期中期計画を策定し、事業計画に基づく予算申請、事業執行のプロセスを構築した。

3. 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策について

本学では、新型コロナウイルス感染症拡大防止における、令和2年度の対策を以下のとおり行った。

(1) 武蔵野大学・大学院

①体制

キャンパスへの入構や事務対応の取り扱いを制限することに加え、対面授業開始後はキャンパス入構時にサーマルカメラによる検温と学生証による記録を開始するとともに、オンライン授業や在宅勤務に必要なツールの整備を支援した。また、年間を通じて大学コロナ対策会議を開催し、新型コロナウイルス感染症にかかる行動指針やガイドライン等を策定し、学生及び教職員へ周知した。

②教育

オンライン授業のためのシステムを整備し、4月の3週間をオンライン学修準備期間とし、その後はオンラインでの授業実施とすることで学年暦を変更することなく教育を展開できた（一部、対面が必要な科目のみ対面授業を実施）。また、学生の海外派遣留学及び協定留学生の受け入れは中止した一方で、短期語学研修やGLP海外研修、フィールド・スタディーズの一部をオンラインで実施した。その他、図書郵送貸出、オンラインリファレンス、資料複写郵送サービスの実施や、通信教育部のスクーリングをオンラインで実施するなど、感染拡大防止下でも教育の質の維持に努めた。

③研究

原則として、在宅での研究活動を推奨し、学会の開催を制限するなど、感染対策を講じた一方で、座席指定の予約制で時間を短縮して大学院自習室を開放するなど、研究活動の停滞を最小化するよう努めた。

④学生支援

前期の学費納入期限の延長や学修支援金の給付を行うことで、学生への経済的支援を行った。就職支援の面では、オンラインによる就職ガイダンスや資格取得対策講座、キャリアアドバイザー一面談を実施した。また、オンライン学内コミュニケーションツールの設置や、オンラインでの大学祭の開催、式典の複数回に分けた実施など、コロナ禍においても学生の帰属意識の醸成に努めた。

⑤入試

オープンキャンパス及び通信教育部の入学相談会をオンライン形式で開催した。また面接型入試をオンライン形式へと変更したことに加え、筆記型入試会場も座席間隔を1m以上確保し、消毒、換気を徹底することで受験生が安全・安心して受験できる環境を整えた。

⑥施設・設備の対応

武蔵野、有明キャンパスでネットワークインフラ環境を更新したことに加え、オンライン授業実施に伴う各種ツールのヘルプデスクである「MUSICヘルプデスク」を開設した。また、有明キャンパス近隣施設にてオンライン受講スペースを確保し、感染対策実施下でも教育の質の維持に努めた。

(2) 武蔵野大学中学校・高等学校

①体制

緊急事態宣言下では、登校禁止の措置を取り、宣言解除後は、通常または時差登校とすることで生徒の安全確保に努めた。また、中高新型コロナ対策本部を設置し、対策に関する協議を継続して実施した。

②教育

生徒及び教職員貸出用の ICT 端末手配等の準備を行うことで、緊急事態宣言下でも休校することなくオンライン授業を実施した。また、宣言解除後も対面授業とオンライン授業を併用したハイブリッド型授業を実施した。学校行事については、中止及び延期や規模を縮小しての開催とし、部活動や合宿についても、緊急事態宣言発令期間は禁止とすることで感染拡大防止に努めた。入試については、学校説明会をオンラインで開催し、入学試験においても新型コロナウイルス感染症対応のための別室準備など対策を行った。その他、生徒の海外留学派遣中止勧告やコロナ禍に伴う奨学金制度を拡充した。

③施設・設備の対応

消毒・検温機器の配備や空気清浄器の設置、除菌マットの増設を行った。また、マスクやフェイスシールド、医療用防護服、医療用手袋などの購入により感染対策に向けた設備、備品拡充を行った。

(3) 武蔵野大学附属千代田高等学院

①体制

千代田管理職会にて新型コロナウイルス感染症対応について審議を行った。令和2年6月からは、清掃仕様を変更し、感染拡大防止に努めた。

②教育

感染対策のため、学外実習等は中止としたが、オンライン授業の実施や分散登校と短縮授業の実施、全校生徒へのマスク配布により、教育を継続する中での感染拡大防止に努めた。また、在宅勤務を行いつつ、グーグルフォームによる問い合わせと電話返答を実施することで、生徒や保護者との連携を強化できるよう努めた。加えて、オープンスクールや海外留学ミーティング、塾対象説明会、教員採用説明会をオンラインで開催した。

③施設・設備の対応

オンライン授業実施のため、Wi-Fi のアクセスポイント増設と一部 Wi-Fi レンタルにより通信環境の改善を行った。また、各教室にアルコール消毒液と空気清浄機、トイレにハンドウォッシュを配備した。加えて、サーマルカメラシステムと非接触温度計やサーキュレーター及び大型扇風機の配備など、感染対策に向けた設備拡充を行った。

(4) 武蔵野大学附属幼稚園

①体制

緊急事態宣言下は、臨時休園を実施した。宣言解除後は、一時的に分散登園と午前保育を実施したが、令和2年9月以降は通常保育とした。

②教育・保育

1 学期はお泊り会をはじめとした幼稚園行事は中止としたが、2 学期は密を避けて行事を実施した。また、休園期間中も園児に向け動画配信を行うことで、感染拡大防止を図るとともに教育・保育との両立を試みた。

③施設・設備の対応

園児が対面で着席する状況を回避するため、4 人用対面机の使用を可能な限り避けて、横 1 列に着席する 3 人用机とアクリル板を購入した。また、空気清浄機やソープディスペンサー、アルコール消毒液ディスペンサーの設置により感染対策に向けた設備、備品拡充を行った。

(5) 武蔵野大学附属有明こども園

①体制

緊急事態宣言下では、江東区からの要請に基づき、臨時休園を実施した。宣言解除後は、状況に応じて家庭保育の推奨、1 号認定預かり保育及び園外児の一時保育の規模を縮小して実施した。

②教育・保育

緊急事態宣言下においても、保育が必要な 2 号・3 号認定の家庭への保育は継続して実施した。宣言解除後は分散登降園の実施に加え、入園式や遠足等の行事は中止、その他行事内容も変更及び縮小とすることで感染拡大防止に努めた。一部、わくわくプログラムも中止とした一方で、内容を変更して WEB で実施したり絵本の読み聞かせを WEB で実施する等、感染対策と質の高い教育・保育の提供の両立に努めた。

③施設・設備の対応

幼児給食用のパーテーションや職員室への換気用ファンの設置、サーモグラフィ体温計の正面玄関への設置等、設備の拡充を行った。

(6) 法人事務局

①体制

緊急事態宣言下は、各キャンパスへの出勤は禁止とし、テレワークによる勤務を原則とした。宣言解除後は、テレワーク及び時差出勤による勤務を推奨した。

②行事等

感染拡大防止のため、学院行事は中止及び規模を縮小しての開催とした。また、年 10 回開催が予定されていた日曜講演会もすべて中止とし、後援会行事も中止及び文書またはオンラインでの実施に変更した。

③施設・設備の対応

フードコート（有明キャンパス）、学生食堂（武蔵野キャンパス）の感染予防対策を実施した。また、感染予防対策としての清掃対応に加え、アルコール消毒液や入構時検温対応のためのサーマルカメラを設置拡充した。さらに、教職員のための PCR 検査キット購入及び実施費用の補助も実施した。